

MSR[®] テントとシェルター

オーナーズマニュアル




MOUNTAIN SAFETY RESEARCH[®]

警告

このテント生地に炎および熱源 を近づけないでください。

このテントは CPAI-84 仕様に適合する難燃性の生地で作られています。しかし、不燃性ではありません。炎や熱源への接触が続くと、この生地は燃えます。テント生地に異物を塗布すると、難燃性が失われる場合があります。

このテント内部で燃料を燃やす 機器を操作しないでください。

燃焼により酸素が消費されて一酸化炭素が危険なレベルにまで増加し、重傷や死に至る可能性があります。

火気厳禁



テントまたはシェルターの中または近くに、コンロ、キャンプファイアーなどの火気を置かないでください。テントまたはシェルター内部で、調理や照明で火気を使用したり、コンロなどの熱源の燃料を補給しないでください。窒息または重度のやけどにより死に至る可能性があります。

換気



テント内部では常に十分な換気を行ってください。窒息により死に至る可能性があります。

キャンプ場の選択



固定

キャンプ場を選ぶときは、テントの損失や使用者のけがの危険性を減らすため、岩や枝の落下、落雷、鉄砲水、雪崩、強風などの可能性を十分考慮してください。

テントの損失や使用者のけがの危険性を減らすため、テントは常に正しく固定してください。

テントの寿命を延ばす 4 つのヒント

1. **テントを濡れたまま保管しない：**テントを濡れたまま（または湿ったままでも）保管すると、生地やコーティングが早く損傷する原因になります。（6 ページを参照）
2. **設営中、ボールの取り扱いに注意する：**ボール損傷の 90% は設営時に発生しています。ボール同士の接続は確実に行ってください。不完全な接続はボールのエンドに損傷を与え、折れる場合があります。（7 ページを参照）
3. **フットプリントを使用する：**フットプリントは、テントフロアをきれいにし、湿気から守ります。悪条件下での設営時に、テントフロアの損傷最小限に抑えます。（4 ページを参照）
4. **ジッパーを急に閉めない：**ジッパーはやさしく取り扱います。ジッパーの開閉はゆっくり行ってください。（9 ページを参照）

目次

| | |
|----------------------|-------|
| 設営と使用 | 4 - 6 |
| フィールドでの応急修理の方法 | 7 |
| 家でのテントの手入れ | 8 - 9 |
| MSR® 限定保証 | 10 |



設営と使用

出かける前に

新しい MSR テントまたはウィングの梱包を完全に解いて、家で設営します。設営手順や様々な機能に慣れ、ガイコードを取り付けます。こうしておく、暗い場所や悪条件の下で設営しなければならぬ場合に助かります。

場所の選択

平らで、雨が降っても水はけが良く、風などから保護される場所を選びます。快適に過ごしフロアを保護するため、とがった石や枝などは取り除きます。可能な限り、すでに濡れている地面に設営するのは避けてください。

フットプリントの使用

テントの下にフットプリント（別売り）を使用することを推奨します。フットプリントは、各モデル用にデザインされ、テントフロアをきれいにし、湿気から守ります。悪条件下での設営時に、テントフロアの損傷を防ぎます。

テントポールの使用

テントポールは慎重に取り扱ってください。ポール損傷の 90% は設営時に発生しています。

- 広げたり折りたたんだりするときは、ポールの接続、取り外しを確実にします。ポールのエンドに損傷を与え、ポールを張ると折れる場合があります。
- スリーブに通すときにはポールを押します。引かないでください。ポールを引くと各セクションが離れ、ポールまたはテント生地を傷めます。抵抗を感じる場合は、ポールを無理に押しさないでください。何が妨害しているかを確認し、少しずつポールを通します。
- 海水がかかると、フレームが腐食して使用できなくなる場合があります。旅行から戻ったら、ポールを清水ですすぎ、シリコン潤滑剤を軽く塗ります。
- きわめて低温や長期間の使用後は、ショックコードが弾力性を失う場合があります。調節には、各ポール部分を前後に素早く動かして、コードに張力を与えます。さらに張力が必要な場合は、エンドチップのねじを外し、コードを数インチ引き出して、コードに新しい結び目を作ります。

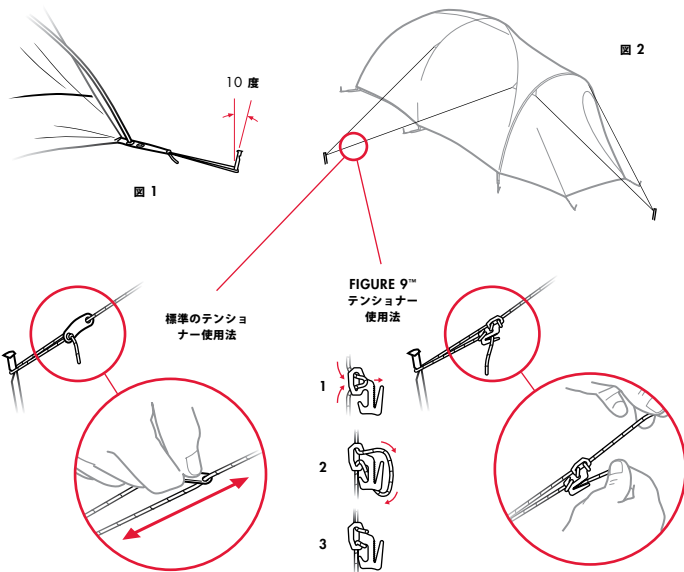
追記:生地は気候により伸び縮みます。これに対応するため、ほとんどの MSR テントは、ステイク・ループにポールの先を挿入するためのグロメットが 2 つあります。生地が縮んでいる乾燥地では外側のグロメットを使用してください。生地がゆるんでいる湿った気候では内側のグロメットを使います。

ステイクでの固定

自立型テントを含むすべてのテントでステイクが必要なのは、突風で吹き飛ばされるのを防ぐためです。そのため、MSR テントは必ずしっかり固定する必要があります。MSR は、ほとんどの状況でテントを安全に設営するのに十分なステイクおよびガイコードを提供しています。極端な土壌条件または様々な土壌条件での使用には、追加の特殊なステイクおよびガイコードの購入が必要な場合があります。MSR は、様々なテンショニングキットを提供しています。詳細はディーラーにお問い合わせください。（図 1 を参照）

ガイアウトの使用

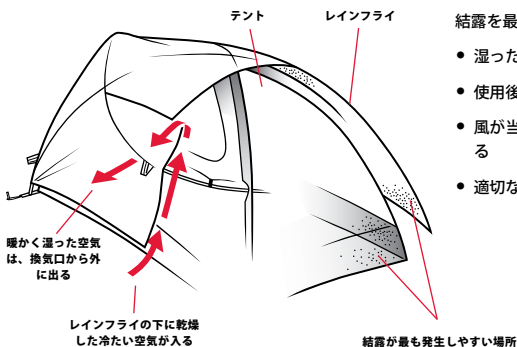
ガイアウトラインでテントをしっかりと張ると、テントの強度と安定性が増します。（図 2 を参照）これにより、生地が垂れ下がったり、しわになったりしにくくなり、雨水がたまるのを防ぎます。テントの必要な場所に取り付けて、コードをテンショナーに通します。（下のテンショナーの使用法を参照）



結露

結露は、物理的に避けることができません。暖かく湿った空気が、冷えたテント生地に接すると、結露が生じます。ほとんどの状況では、テント内の空気を外部へ放出することにより、結露を抑えることができます。雨など、高湿度の気候下では、結露を除いたり抑えたりできない場合があります。これらの状況では、換気をしっかり行くと、より湿度の高い空気を取り込む結果となり、実際には結露が増える可能性があります。(図 3 を参照)

MSR ダブルウォールテントは、湿った空気が呼吸可能なキャンピー生地やメッシュ生地を通り、レインフライの内側に集まるように設計されています。朝、レインフライの下側が水滴で覆われているのは正常です。湿度の高い状況では、結露は、テント内部の敷居やフロアの一部にも発生します。これも正常な状態であり、フロア生地から水が漏れているわけではありません。



結露を最小限に抑えるには：

- 湿ったものはテントの外に置く
- 使用後にテントを乾かす
- 風が当たる方向にテントを向ける
- 適切な場合は内側を換気する

火気

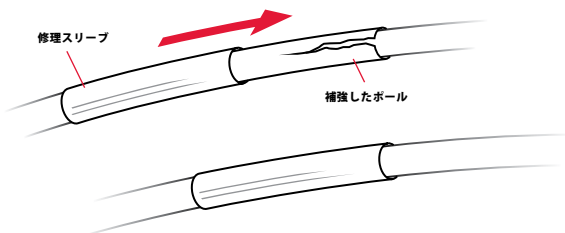
当社のシェルターは、合衆国各州やカナダ、ヨーロッパで制定されている厳しい耐火基準を満たしています。しかし、シェルターの生地は、難燃性であり不燃性ではありません。シェルターの材質は、裸火や高温にさらされると溶けます。テント内やテントの近くでは、燃料を使用する装置や炎が出るものはいかなる種類のものも使わないでください。シェルターはコンロやキャンプファイアーなどの炎が出るものから離してください。

生地およびメッシュの裂け目

旅行中にテント生地が破損した場合、応急修理が可能です。MSR® テント応急修理キット(別売り)には、テント生地用の防水粘着パッチメッシュ、およびレインフライ用の透明ポリウレタンが含まれています。比較的小さな穴には、McNett Seam Grip シームシーリング剤が使用できます。もっと大きな裂け目ができた場合、旅行から戻った後に、MSR の製品サービスセンターでもシェルターを修理できます(有料)。通常の摩耗および裂けは、保証の対象ではありません。

ポールの修理

ポールが折れた場合は、テントに付属のポール修理スリーブを使って、一時的に補強することができます。折れた部分の上に修理スリーブをスライドして、その部分にテープを貼るか食い込ませて、一時的に固定します。旅行から戻ったら、ポールの永続的な修理について、MSR 商品サービスセンターまでお問い合わせください。MSR は、テントフレームについて永久保証を行っています。(図 4 を参照)



家でのテントの手入れ

保管

テントが濡れたり湿ったり、または汚れている場合は、そのままテントを畳んだり収納しないでください。最良のポリウレタン防水を施していますが、湿気へ長時間さらすと、加水分解を起こします。防水層が分解され、柔らかくべとべとして、防水性を失います。暖かいときに24時間テントを濡れたままで保管すると、生地にカビがはえ始めます。カビは、しみや臭いの原因となり、また、防水コーティングが早く分解することにもつながります。カビや湿気による損傷は、永久保証の対象にはなりません。

旅行から戻るたびにテントを完全に乾かし、寝袋の場合と同様に、スタッフサックから出して、直射日光が当たらない場所で乾燥させて収納します。

手入れ

太陽と紫外線

紫外線は、テントまたはシェルターを最も傷めます。シェルターは日なたで使うことが多いのですが、長期間日光にさらすと生地が色あせたり、強度を失ったり、最後には裂けたりする原因になります。高度が高いと、この影響は早く現れます。可能であれば、テントやシェルターを設営するときは直射日光を避け、レインフライを使って傷みやすいメッシュやコーティングしていないナイロン部分を保護します。紫外線による損傷は保証の範囲外です。

縫い目のシーム

優れた生地と構造により、MSR テントおよびシェルターは防水性能に非常に優れています。レインフライおよびフロアは、工場にてシームテープで加工済みなので、シームシーリング処理は必要ありません。何か問題が発生したら、McNett Seam Grip (www.mcnett.com) を使用して、特定の場所だけをシームシーリング処理します。シームシーリング剤のチューブに記載されている指示に従って、生地の内側のコートされ光沢のある側だけをシームシーリング処理します。

クリーニング

フットプリントの併用は、テントをきれいにしておく最も効果的な方法です（4ページの「フットプリントの使用」を参照）。テントを清掃する必要がある場合、テントを設営して、スポンジと湯を使用します。さらに清掃が必要な場合、庭のホースで水をかけると残りの汚れも落ちます。洗剤、石鹼、漂白剤を使ったり、ドライクリーニングをしないでください。防水性が失われたり、生地を傷める場合があります。パッキングや収納の前に、テントを完全に空気乾燥させます。

ジッパー

砂がジッパーの歯に入り込むと、金属製のジッパースライダーが摩擦したり破損する場合があります。この場合は、ジッパーコイルを水でゆすぎ砂を落としてください。普通の庭のホースで水をかけると、ジッパーコイルの中から小さな砂粒が押し出されます。ジッパーのスライダーを注意して取り扱おうと、ジッパーの寿命を延ばすこともできます。ダッフルバッグやスーツケースのジッパーと全く同様に、ジッパーをスライドさせる前にスライドさせる方向の状態を確認してください。また、力を入れすぎないでください。生地がスライダーにはさまったら、ゆっくりとスライダーを元に戻して、はさまった部分を外します。

動物

動物がかじって生地に穴を開けるのを防ぐため、テントには食料や調理器具を保管しないでください。



MOUNTAIN SAFETY RESEARCH

Cascade Designs, Inc.

4000 First Avenue South, Seattle, WA 98134 USA

1-800-531-9531 または 206-505-9500

www.msrgear.com

info@cascaadedesigns.com



Mochizuki Outdoor Tools
株式会社 モチヅキ

〒955-0093 新潟県三条市下須頃323番地
TEL.0256-32-0819(代)FAX.0256-32-0880
ユ-サ-サホ-トタ-イヤル TEL.0256-32-0860

www.e-mot.co.jp